

2017年3月1日

報道関係各位

KCJ GROUP 株式会社

**こどもが主役の街「キッズニア東京」
伊藤忠商事出展の「エコショップ」パビリオンがリニューアル
「アマゾンの生態系保全」をテーマとし、マナティーのミルク代を寄贈**

こどもが主役の街「キッズニア東京」のオフィシャルスポンサーである伊藤忠商事株式会社(本社:東京都港区、以下 伊藤忠商事)が出展する「エコショップ」パビリオンを4月1日(土)よりリニューアルします。「エコショップ」パビリオンでは、「アマゾンの生態系保全」をテーマとし、パビリオンの体験者数に10円を乗じた金額をアマゾンマナティーのミルク代として寄贈します。

添付:伊藤忠商事 ニュースリリース

以上

2017年3月1日

報道関係各位

伊藤忠商事株式会社

「アマゾンマナティーの野生復帰支援事業」 (マナティー里帰りプロジェクト)への取組について

伊藤忠商事株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:岡藤正広、以下「伊藤忠商事」)は、KCJ GROUP 株式会社(本店:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO:住谷栄之資、以下「KCJ」)が企画・運営を行う子ども向け職業・社会体験施設「キッズニア東京」(東京都江東区豊洲)と連携し、「アマゾンマナティーの野生復帰支援事業」(マナティー里帰りプロジェクト)への取組を推進してまいります。なお、伊藤忠商事は2017年4月1日より広報部「CSR・地球環境室」を「サステナビリティ推進室」に名称変更し、本プロジェクトを始めとする各種取組を通じて、持続可能な環境への貢献により積極的に注力していく方針です。

① 「キッズニア東京」エコショップパビリオンのリニューアル

伊藤忠商事は「キッズニア東京」のオフィシャルスポンサーとして、次世代育成と環境保全を目的とした社会貢献活動を実施すべく、2012年4月より同施設内に「エコショップ」パビリオンを出展しています。2017年4月より本パビリオンをリニューアルし、子ども達はエコバッグやリサイクル石鹸等のオリジナルのエコ商品を制作し、「アマゾンの生態系保全」をテーマによりグローバルな視点で環境保全を学ぶ場をご提供します。



(※) パビリオン内壁紙イメージ

② アマゾンマナティーミルク代の寄贈

上記「エコショップ」パビリオンの体験者数に10円を乗じた金額を、アマゾンマナティーのミルク代として伊藤忠商事とKCJから毎年寄贈します。

■「アマゾンマナティー野生復帰事業」(マナティー里帰りプロジェクト)について:

伊藤忠商事は、生物多様性の保全を目的に、ブラジルの国立研究機関「国立アマゾン研究所 (INPA)」と京都大学野生動物研究センターが進める「アマゾンマナティーの野生復帰支援事業」を行っています。絶滅危惧種でアマゾン川の固有種であるアマゾンマナティーは、密漁に伴う負傷等により毎年多くの数、保護されています。しかし、一度飼育されたマナティーが野生に適応するのは難しく、水槽飼育、半野生飼育、野生復帰という3段階のプロセスを経るソフトリリースを行うことによって、今後3年間で20頭以上のマナティーの半野生復帰および10頭以上の野生復帰を目指し、取組をすすめています。この野生復帰支援事業を「マナティー里帰りプロジェクト」と称して、2016年度から3年間で150万円の支援をしています。



●アマゾンマナティーが野生に戻るまで



エコショップ体験者数に応じた金額が、水槽飼育のマナティーのミルク代として寄付されます。

<http://www.itochu.co.jp/ja/csr/social/amazon/index.html>

当プロジェクトは、日本の独立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) と独立行政法人国際協力機構 (JICA) が共同で実施している地球規模課題解決と将来的な社会実装に向けて日本と開発途上国の研究者が共同で研究を行う SATREPS プロジェクトの一つです。

■キッズニア東京について:

キッズニア(<http://www.kidzania.jp/>)はメキシコ発の子ども向けの職業・社会体験施設で、日本では2006年に「キッズニア東京」、2009年に「キッズニア甲子園」がオープンし、楽しみながら社会のしくみを学ぶことができる体験型の施設として高い人気を博しています。現在、「キッズニア東京」では、約60社の企業がパビリオンを出展、年間約86万人が来場しています。

以上